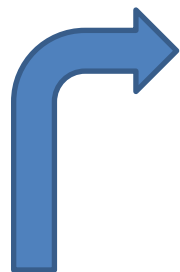


⑨実施体制等

革新的新構造材料等技術開発

平成25年度概算要求額：60.5億円(うち要望額53億円)



ガバニングボード
(PL, 各テーマSPL, 文科省PJのPD, 関係課室長等)

- ・研究計画・進捗状況の共有
- ・成果管理に関する連携
- ・施設設備の効率的利用

経済産業省

委託

文部科学省

【視点2】(1)-(3)

実施体制

戦略委員会(材料及び構造の外部有識者)

全体戦略の策定

PL

ユーザー企業(自動車、航空機産業等)によるアドバイザリーボード

共通技術開発

- ・横断的な執行管理
- ・資源配分の管理等

革新的構造材料の評価・解析

要求額：7.5億円

異種材料接合技術

CFRP

Ti

Mg

Al

Fe

熱可塑性CFRP
設計・加工技術

高強度耐熱性合金
／
連続製造プロセス

難燃性高強度合金
／
表面処理加工

微細化・高分散による高強度合金
／
革新的製造プロセス

新組織制御、複層化、複合化による高機能特性鋼板
／
製造プロセス技術

要望枠：53億円

材料別技術開発

⑩評価体制

⑥に統合

⑪その他

【視点5】(1)

既存の事業との関係等

本事業は文部科学省の研究開発プロジェクトと有機的に連携することにより、知的財産・研究設備の活用促進を図りつつ、基礎研究から出口を見据えた事業化までの一気通貫の研究開発を実施する。

具体的には、文部科学省・JST「産学共創基礎基盤技術開発：革新的構造用金属材料創成を目指したヘテロ構造制御技術に基づく新指導原理の構築」(平成22～31年度)、文部科学省「元素戦略プロジェクト(拠点形成型)」(平成24～33年度)、文部科学省科学研究費補助金『バルクナノメタル ～常識を覆す新しい構造材料の科学』(平成22～26年度)などの事業と連携する。